

部局名	上下水道局	所属名	維持管理課	所属長名	鶴丸 良造	電 話	483-6587
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	9801		事務事業名称	污水管渠維持事業(下水道事業_収益的支出)						短縮コード	経常	9801	臨時	
予算区分	会計	61	公共下水道事業会計_収益的支出	款	01	下水道事業費用	項	01	営業費用	目	01	管渠費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		下水道法第3条							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
本市の公共下水道事業は勝田台団地の開発により公共下水道が整備され,入居に併せ昭和43年10月から供用を開始し,昭和50年1月からは流域関連公共下水道として供用を開始した。また,公共下水道の修繕や維持管理等は下水道法により市町村が行うものとされているので,それに併せて供用開始区域における污水管渠等の維持管理を行っている。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	04	快適生活空間都市をめざして						
供用開始から40年以上経過していることから,管理施設の老朽化が見受けられる。また,西八千代北部特定土地区画整理事業の大規模開発及び小規模な宅地開発等が行われており,それに伴う公共下水道の整備による維持管理施設も増加していく。						大項目（節）	05	下水道						
						中 項 目	01	下水道						
						小項目（施策）	03	維持管理の充実						
						細 項 目	01	下水道施設の維持管理						
実施計画の計画事業														
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	污水施設（污水管渠,汚水人孔等）							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成22年度に実際に行ったこと： 污水本管,汚水人孔,汚水取付管,污水公共柵及び污水マンホールポンプの修繕や清掃							
	※平成23年度に計画していること： 污水本管,汚水人孔,汚水取付管,污水公共柵及び污水マンホールポンプの修繕や清掃							
意図 （何を狙っているのか）	污水排水が安定して排除できる施設にし,快適な生活を保障する。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 1 年度	2 2 年度		2 3 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	管延長	m	451,718	500,000	467,570	490,000	
	指標 2	污水マンホールポンプ	箇所	10	10	10	10	
	指標 3							
活動指標	指標 1	污水管渠修繕件数	箇所	51	50	62	50	
	指標 2	汚水人孔修繕	箇所	130	100	102	130	
	指標 3							
成果指標	指標 1	管渠等の苦情件数	件	79	80	97	80	
	指標 2							
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード	9801	事務事業名称	污水管渠維持事業(下水道事業_収益的支出)				所属名	維持管理課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			直営による迅速な対応については、限界に近づいているため、管渠の事前調査も含め維持管理の方針を検討していく。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			直営による迅速な対応が損なわれないような委託の手法を検討する。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☒	☐		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
マンホール鉄蓋の振動や騒音, 污水管の詰まりの対応の要望がある。									

所属長コメント	汚水本管及び取り出し管の老朽化による、道路陥没や詰まり等の事象が発生している。現状においては、事後対策での対応を行っているが、今後は委託の検討を含め維持管理の方針を考慮する必要がある。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			事業の委託等の見直しについては、課題解決に努め事業の効率化と経費縮減に取り組むこと。					
	☒ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☐ 現状のまま継続									